

# 議会だより ひらゝずみ

第178号

令和5年2月1日

定例会12月会議

## 石川県から 移住しました!!

町が主催する「スパルタキャンプin平泉町」に参加し、平泉町の魅力に惹かれ、移住を決意した駒田孝行さん。

現在は、町宿泊体験交流施設「浄土の館」の管理人として宿泊業務に従事しています。

(関連記事P18)



### ●主な内容

特集 議会改革

みなさんに知ってほしいギカイのこと! 2

議会12月会議

町民の生活支援を重視か 6

一般質問

ここが聞きたい

7議員が町の考えを問う 10



議会だより ひらゝずみ 178号 発行/平泉町議会 編集/議会広報編集特別委員会 平泉町平泉字志羅山45-2 TEL 0191-34-5595 HP <https://www.town.hiraiwumi.iwate.jp>



平泉町議会

議長

高橋 拓生

副議長

升沢 博子

議員

千葉勝男	阿部圭二
佐藤孝悟	氷室裕史
高橋伸二	猪岡須夫
真籠光幸	稲葉正
三枚山光裕	大友仁子

謹んで新年のお慶びを申し上げます。未だ終息に至らない新型コロナウイルス感染症にあっては、罹患された方々に心からお見舞いを申し上げますとともに、医療・福祉従事者をはじめ、各事業者の大変困難な状況に立ち向かって

いるすべての方々に、心から敬意を表し感謝を申し上げます。二元代表制の一翼を担う議会では、町民の皆様が安全で安心して暮らせるまちを目指して、防災対策、子育て対策、医療・福祉対策など重要課題の解決に向け、住民の代表として多様な意見を集約し、執行機関との真摯な議論を積み重ねてまいります。

今年一年が、皆様にとりまして幸多き一年になりますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶いたします。

年頭にあたって

### 表紙の紹介

平泉のまちを盛り上げたい



石川県出身の駒田さんは、町が主催する次世代技術者養成講座（スパルタキャンプin平泉町）の第3〜6期を受講しました。4

し、世界遺産の町 平泉を盛り上げていきたいと移住を決意しました。現在は、旅館での勤務経験を活かし、町宿泊体験交流施設「浄土の館」の管理人として宿泊業務に従事しています。「今年は、ポルトガルからの団体客の予約も入っています。今後、目標である起業に向けて、町の文化やプログラミングなどを活用した多様な企画で施設を盛り上げていきたい。」と語ってくれました。

### あしがき

今年には統一地方選挙の年となります。地方議員のなり手不足が深刻で、前回の統一地方選挙では、約4分の1の町村が無投票であったと報じられていました。果たして今年はどうでしょうか？

うでしようか？ 昨年末、研修に伺った先進的な改革を行っている奥州市議会においても前回は無投票となりました。平泉町議会は「私もやってみたい」と思ってもらえる議会に変われるでしょうか？

特集「議会改革」にご意見を頂ければ幸いです。

升沢博子

### 編集スタッフ

委員長	阿部圭二
副委員長	稲葉正
委員	升沢博子
委員	氷室裕史
委員	大友仁子

町民の皆様のご意見・ご要望をお待ちしています。

議会だよりは再生紙を使用しています

# 議員はどんなことをしているの？

## みなさんに 知ってほしい ギカイのこと！

議会は地方公共団体の意思決定機関として、様々な地域課題に取り組んでいます。議員の活動が町民に見えるという指摘があります。

平泉町議会はわかりやすい議会運営、見えやすい議員活動へと取り組んできましたが、議会の役割がわからない、議員のなり手不足などまだ課題が多くあります。そこでより一層の改革を進めるため、皆様とともに考えていきたいと思います。

### 議会改革、これまでの取り組み

- 平成20年4月：町民と議会との懇談会
- 平成23年10月：HPへ会議録の掲載
- 平成24年6月：防災行政無線による一般質問通告議員のお知らせ
- 平成27年3月：議会映像配信システムの導入
- 平成28年1月：議会基本条例の制定
- 平成28年1月：会期の運用による通年議会を導入
- 平成28年4月：政務活動費の支給（一人月額5000円）
- 令和3年3月：タブレット端末導入
- 令和4年3月：議会業務継続計画（議会BCP）作成
- 令和4年4月：オンライン会議の導入
- 令和4年4月：質疑回数削減の撤廃

町民の負託に全力で応えるため、議会活動の原則を定めた、議会の最高規範

\*会期を通年とし、議会の判断が必要に応じて本会議・委員会を開催できるようになった。災害、感染症などの危機に迅速に対応できる

ペーパーレスによるコスト削減、情報共有が迅速になり、スピード感のある活動が可能に

災害時の議決機関、代表機関としての機能の維持と責務を定めた計画

議論を深めるため、質疑に1問1答を導入、これまで3回となっていた質疑回数を撤廃

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
条例案審議			定例会議			定例会議			定例会議			定例会議
予算審議			3月会議			6月会議			9月会議			12月会議
決算認定	*通年議会制をとっているため、議決が必要な事案があればいつでも議会を開催											
請願・陳情審査等												
議員個人		一般質問		一般質問		一般質問		一般質問		一般質問		一般質問
常任委員会		所管事務調査		所管事務調査		所管事務調査		所管事務調査		所管事務調査		所管事務調査
特別委員会		コロナ対策		コロナ対策		コロナ対策		コロナ対策		コロナ対策		コロナ対策
その他	町民と議会との懇談会・町内外議員研修・地域内外行事に参加・自主活動など											

\*議会運営委員会、議会改革推進会議、全員協議会、町政調査会は随時開催されます。また、常任委員会は必要に応じて随時調査を行います。

#### 町民の声



ゆみ 佐々木由美さん  
(平泉字大沢)

#### 議会は検証を

防災無線は、命を守る情報を、全町民に平等に知らせる伝達手段では？なぜ、全町民に配布しないのでしょうか。議会は可決された予算執行の検証を必ず行ってほしいと切に願います。



熱い議論が交わされる本会議

#### 町民の声



一関高専4年生 けい と 橋階啓人さん  
(長島字竜ヶ坂)

#### 若者と意見交換する機会を

選挙権年齢が18歳に引き下げられたことを踏まえ、若いうちから政治について考え、触れる機会をつくるのが大切だと思います。町民の意見が議会でのように取り上げられているか、町民代表である議員による議会活動がどう行われているかをSNSの活用により、理解していただく必要があると考えます。



タブレットを使用したオンライン会議



コロナ対策を町に要望



区長会との情報交換会

#### 町民の声



なおき 千葉直樹さん  
(長島字滝の沢)

#### 事業者支援策の提言を

商工会の副会長をしています。小規模事業者の活動は地域社会の安定、向上に非常に欠かせないものですが、近年の社会情勢により、町内の事業者は苦境に立たされています。あらゆる面での支援策の提言をお願いします。

聞かせて  
くたさい  
皆様の  
声を

これまで行ってきた、議会改革をさらに進めるためには、積極的な情報開示と町民の声を拾い上げる広聴活動が重要です。また、町政課題の解決のため常任委員会の強化による政策立案・政策提言の実現を目指し、先進地研修を行いました。

研修  
No. 1

ワールドカフェで町民と繋がる  
青森県六戸町議会

- ★平成27年に議会基本条例制定
- ★基本条例検証を踏まえ町の未来を考え、住みよい地域づくりを目指してワールドカフェ・スタイル（席替えする井戸端会議）による町民（中学生、高校生も）との意見交換会を行っている。
- ★議会改革により町民の意見を吸い上げ、課題に対する議員間討議や政策策定と情報発信力の強化に取り組んでいる。

平泉町議会が学んだこと

町の課題解決のため、町民の声を聞くワールドカフェ。他議会の良いところを取り入れていきます。

研修  
No. 2

議会報告会から  
ふれあいミーティングへ  
青森県八戸市議会

- ★平成27年制定の議会基本条例の検証でマンネリ化と参加者の減少から意見交換方式のワークショップ、ふれあいミーティングに取り組むことになり、令和3年から行っている。

平泉町議会が学んだこと

議会が町民の身近な存在になるために、これからは広聴、広報をがんばるぞー!!

町民意見の反映を

道の駅、浄土の郷で働いています。平泉町の町づくりワークショップに参加した経験から、議会でも、なんでも話せるワークショップで町民の意見を吸い上げてほしいです。



千葉真紀子さん  
(平泉字祇園)

町民の声

研修  
No. 3

政策提言の新たなかたちへ  
岩手県奥州市議会

- ★政策決議提案サイクル  
市の課題掘り起しに市民の意見把握と現状調査、市との協議と市民意見調整で議会は発議案を提出。  
発議案可決→提言書提出→市の計画反映→提言実現  
以上のサイクルで課題解決へ。議員の活動が目に見える形に。

平泉町議会が学んだこと

奥州でも市民意見の把握にワールドカフェが力を発揮、提言の実現に繋がっている。議員の活動はSNSで発信、めざせ！スピード感。

議会をもっと身近に

学習交流施設エピカの職員として公民館部門を担当しています。新しい企画を考えたり、楽しく仕事をしています。今まで議会はあまり身近に思えませんでした。これからは町民と議員が気軽に話せる場がほしいと思います。



菅原翼さん  
(平泉字花立)

町民の声

常任委員会の活動

産業建設 常任委員会

害獣を町の財産に！  
～大槌町の取り組みに学ぶ～

年々増加する鳥獣被害は当町の農地の荒廃、離農の大きな原因となっている。官民連携で取り組む新たな発想は、本町の課題解決と地域振興の手段として参考になった。



総務教民 常任委員会

多角的な子育て支援を！

宮古市は、子ども条例の制定により、諸課題を子どもを含めた官民連携で共有している。山田町では、幼保小の接続事業の充実を図り、就学後1年間の架け橋期に対応している。今後の当町の施策に反映していきたい。





補正  
予算

# 町民の生活 支援を重視か

## 定例会12月会議

### 給食費の徴収・管理方法が変わります

公会計化の効果は、①教職員の業務負担軽減 ②口座振替について、保護者が希望する金融機関の設定が可能となり、保護者の利便性が向上するなどがあげられます。※公会計とは、地方公共団体の会計

**問** 学校給食の公会計化のメリットとデメリットは。

**答** 導入のメリットは、学校給食費の事務を教育委員会が実施することにより、給食事務に費やしてきた時間を先生方が子どもたちと向き合う時間に充てることができる。デメリットは、全国的な例として収納率が低下する懸念がある。

**問** 未納者に対して、児童手当からの引き落としも考えているのか。

**答** 徴収が可能であれば対応したいが、保護者の同意がなければならぬため、丁寧に対応していきたい。

### 一般職の給与条例改正

- ①給料月額引き上げ…令和4年4月1日遡及改定  
改定率 平均0.3% ※およそ30代半ばまでの職員が該当  
初任給 4000円引き上げ
- ②勤勉手当引き上げ…令和4年12月1日遡及改定  
一般職 4.3月→4.4月へ(0.1月引き上げ)  
再任用職員 2.25月→2.3月へ(0.05月引き上げ)

**問** 期末手当の増減は  
国と県は、令和3年度期末手当の減額調整を実施し、平泉町は実施しなかったが、令和4年は給料を4月まで遡及して支給するのか。  
**答** 4月1日から給料月額を引き上げる。

### 段階的な定年延長へ

令和5年度に60歳に到達する職員から2年に1歳ずつ段階的に定年が引き上げられることを踏まえ、次の措置が講じられます。

	現行	令和5~6年度	令和7~8年度	令和9~10年度	令和11~12年度	令和13年度以降
定年	定年60歳	定年61歳	定年62歳	定年63歳	定年64歳	定年65歳

※定年の引き上げに併せて、現行の60歳定年退職者の再任用制度は廃止し、暫定再任用制度として令和13年度まで暫定措置する。

- ①役職定年制(管理監督職勤務上限年齢制)の導入  
組織の新陳代謝を確保し、組織活力を維持するため、役職定年60歳を導入。
- ②定年前再任用短時間勤務制の導入  
60歳に達した日以後、定年前に退職した職員に対して、本人の希望により、65歳まで短時間勤務の採用ができる制度を導入。
- ③情報提供・意思確認制度の導入
- ④給与に関する措置  
当分の間、60歳を超える職員の給与は7割水準に設定。

### 後進の育成を

**問** 再任用における管理監督職の運用実績は。  
**答** これまで平泉幼稚園と長島保育所に管理監督職として任用されてきた実績があるが、来年度からは60歳を超える再任用の管理監督職は任用されないと認識している。

**問** 今後の利活用の方向性は。  
**答** 藤原まつりの駐車場として、シャトルバスの運行も検討している。大型の駐車場を生かすためにも、今後様々なイベントを開催していきたい。



令和5年度にはトイレも備わる

**問** 大型駐車場の活用を  
**答** 町内イベント等開催支援事業補助金250万円の減額補正の内容は、SIC駐車場にはトイレが無かったことからイベント開催は難しかった。

**問** 特別会計補正予算  
町民温泉の今後は  
**答** 今後も一般会計からの高額繰り出しが続くのか。  
**答** 冷暖房器具、ガスヒートポンプ等の耐用年数がせまり、来年度は設備の更新を考えている。例年

**問** 燃料費高騰の影響は  
**答** 各施設の光熱水費、燃料費が増額補正されているが、どの程度の負担の上昇が見込まれているのか。  
**答** 電気事業者の値上げに伴い、全体で2000万円程度の支出増加が見込まれている。各施設とも冬期の節電に努めている。  
**問** 電気料金の高騰に伴い、新電力会社への変更、または再契約は考えているのか。  
**答** 町にとって有利な事業者との契約を考えているが、電力事業者との契約先を変更できないような状況もある。引き続き安定した運営を目指したい。



町民の憩いの場の今後は

**問** 健康福祉交流館の活性化調査の中間報告は。  
**答** 委託業者と随時打ち合わせをしているが、まだ公表段階に至っていない。  
**問** 一般会計からの高額繰り出しの費用対効果をどう考えているか。  
**答** 若干ではあるが利用者が戻りつつある。近隣市町村で直営の温泉が閉鎖される報道があり、町民からは心配の声もある。費用対効果だけではなく、町民にとって欠かせない施設であり、福祉向上を図っていききたい。

反対です  
猪岡議員

### 福祉に還元を

今後30年かけて学習交流施設エピカ建設の借り入れを返していく中で、将来世代に多大な負担となる。昨今、役場以外の町内業者で給料が上がっているという話は聞かない。どこかで削る姿勢を見せ、福祉に還元すべきである。

### 討論

#### 労働対価に合った給料を

町職員は町民の福祉向上のため、日々研さんを重ねている。議会としても町職員の労働環境を含め、町民の福祉向上に努めなければならない。いたずらに役場職員の給料を減額すべきではない。

賛成です  
高橋(伸)議員

#### 今こそ賃上げを

今の日本経済において賃上げこそが必要である。公務員であっても物価高騰の中で賃上げは必要であると考えます。

賛成です  
三枚山議員

# 議案内容と審議結果

賛否のあった議案以外は全員賛成で可決しています。

## 議会定例会 12月会議 (12月8日～15日)

議案番号	議案及び内容	関連ページ
条例制定及び一部改正		
第45号	印鑑の登録及び証明に関する条例 (コンビニエンスストア等の多機能端末機による証明書自動交付サービス導入のための一部改正)	
第46号	一般職の職員の給与に関する条例 (給料月額及び勤勉手当の改定のための一部改正)	6
第47号	職員の定年等に関する条例 (職員の定年の段階的引き上げのための一部改正)	6
第48号	地方公務員法の改正に伴う関係条例の整備に関する条例 (職員の定年の段階的引き上げのための関係条例の整備のための条例制定)	6
第49号	町税条例 (鉱産税の標準税率と整合性を図るための一部改正)	
第50号	学校給食費に関する条例 (学校給食費の公会計化のための条例制定)	7

議案番号	議案及び内容	関連ページ
人事案件		
同意第6号	副町長の選任同意 菅原幹成さん 任期は令和5年1月1日から4年間	10
令和4年度補正予算		
第51号	一般会計(第7号) (健康福祉交流館への繰出1814万円、水道・下水道事業会計への補助740万円、職員人件費1868万円、地域介護・福祉空間整備等交付金773万円など)	7・8
第52号	国民健康保険特別会計(第2号) (会計年度任用職員人件費など)	8
第53号	健康福祉交流館特別会計(第2号) (光熱水費・燃料費640万円、ボイラー入替工事1100万円など)	7・8
第54号	町営駐車場特別会計(第3号) (人件費)	8
第55号	下水道事業会計(第1号) (電気料高騰に伴う一般会計からの補助金追加など)	8
第56号	水道事業会計(第2号) (電気料高騰に伴う一般会計からの補助金追加など)	8

## 議会定例会 11月会議 (11月30日)

議案番号	議案及び内容	関連ページ
令和4年度補正予算		
第44号	一般会計補正予算(第6号) (新型コロナウイルス対策経費…電力ガス食料品等価格高騰緊急支援金3590万円、いわて子育て世帯臨時支援金3060万円、農業水利施設電気料高騰対策支援635万円、エネルギー価格高騰対策1315万円、まちはく促進補助600万円など)	8

### 賛否のあった議題

(賛成：○、反対：×)

議案	議員名	大友	稲葉	猪岡	氷室	阿部	三枚山	真筆	高橋	佐藤	千葉	升沢	高橋	賛	反	採決結果
		仁子	正	須夫	裕史	圭二	光裕	光幸	伸二	孝悟	勝男	博子	拓生	成	対	
議案第46号 一般職の職員の給与に関する条例		○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	1	可決
議案第51号 一般会計補正予算(第7号)		○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	1	可決
議案第53号 健康福祉交流館特別会計補正予算(第2号)		○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	1	可決

※採決に議長は参加していません。

### 議長交際費を公表します

- 10月分 1万1000円  
(全史協懇談会、岩手・宮城県際議会懇談会会費)
- 11月分 1万円(元町長への御香典)
- 12月分 支出はありません

※詳細はHPをご覧ください。



### 議会定例会 3月会議のお知らせ

3月8日(水)～15日(水)  
開催予定



※本会議はインターネットで生中継しています。

# コロナ禍に負けない生活を

## 高齢の困窮者へ支援を

**問** 新型コロナウイルス対応生活困窮者冬季特別給付金は65歳以上の非課税世帯を対象としている。一関市と同様に65歳以上へ一律に給付するという議論にはならなかったのか。また、給付対象について伺う。

**答** 価格は一律ではないため、状況に応じて厚労省認可のものでより安価なものを購入していきたい。

今後とも検査キットの購入は続くと考えられるので、より安価なキットを購入すべきではないか。

**答** 65歳以上の非課税世帯を対象とした県の方針にならったものである。給付対象は令和4年の12月1日を基準日として非課税の世帯を対象としている。他にも障がい者の方々が対象に昨年と同様の実施を考えると、450世帯が対象となる。金額については県の基準を上回る額を計上している。

## 同品質の安価なものを

**問** 現在、単価3000円の医療用コロナ検査キットを使用しているが、同等の品質で安価なキットも流通しているのではないか。

### 物価高に対策を

見えない敵との長い戦いが続き、物価が上昇し、必要最小限のものを買うようにしている。子どもたちへ野菜や物資を届ける手立てを考えてほしい。



くにひろ  
舞草國弘さん  
(平泉字善阿弥)

### 令和4年度補正予算

会 計	補正額	補正後予算額
一般会計(第6号)	1億633万円	52億1564万円
一般会計(第7号)	5575万円	52億7139万円
国民健康保険会計(第2号)	5万円	8億1820万円
健康福祉交流館会計(第2号)	1814万円	9471万円
町営駐車場会計(第3号)	19万円	5841万円
下水道事業会計(第1号)	収益的支出	61万円
	資本的支出	39万円
水道事業会計(第2号)	収益的支出	762万円
	資本的支出	10万円

※単位未満を四捨五入しています。

# 定例会 1月会議

令和5年の議会は1月5日から12月27日までの357日間に決定しました。



ます 沢 博 子 議員



自治体経営にはコスト意識も必要では  
(コスト計算書は日野市の資料より)

**問** 当町が類似団体と比較して人件費が高い要因と抑制策は。

**町長** 文化財業務員が必要であり、人件費に影響を与えている。対策は行政改革プランの中で、適正な定員管理と歳出予算のバランスを図っていく。

**問** 令和5年度予算における重点

**答** 令和5年度予算における重点

**問** 行政サービスのコストを明らかにする、事業別コスト計算書を作成しているか。

**総務課長** 作成していない。事業実施の効果だけでなく、投資の費用対効果、相対的な評価も必要になる。健全な財政運営に必要と捉えているので、今後検討する。

**町長** 第6次総合計画の3年目に当たる。計画の3年目では、予算方針では、子育て環境と次世代育成の推進、保健医療の充実、産業の振興の3項目を示している。限られた財源の中で、住民ニーズの確かな反映と効率的、効果的な事業展開に努めていく。

### 令和5年度予算の重点施策は

答 次世代育成、産業振興など

### 副町長に聞く

町づくりにかける熱い思いを伺いました



すが わら みき しげ 菅原 幹成 副町長

【略歴】昭和59年平泉町職員。農林振興課長、総務課長を歴任後、令和4年3月退職。令和5年1月1日副町長就任。61歳。

「夢と希望を持ち、安心して暮らせる町づくり」

町民はもとより訪れる方々にも喜んで頂ける、魅力あふれる歴史と文化の町平泉を、更に輝ける町づくり、誠心誠意努めていきたいと思ひます。

一般質問で町の考えを問う

### ここが聞きたい!

一般質問は、議員が執行機関である町長などに対し、事業の状況や将来の方針などの諸問題について問うものです。平泉町では一人60分以内の制限時間で質問を行います。

#### P11 升沢 博子 議員

- ①令和5年度予算の編成方針
- ②不登校児童、生徒の現状と支援策

#### P12 大友 仁子 議員

- ①コロナ禍における避難所運営のあり方
- ②学校での心肺蘇生教育の普及推進及び危機管理体制

#### P13 稲葉 正 議員

- ①水道事業
- ②花立ため池
- ③ガイダンス施設への連絡通路

#### P14 真箆 光幸 議員

- ①ふるさと応援寄附金の活用
- ②マイナンバーカード不安の解消
- ③子育て政策
- ④高齢者福祉政策

#### P15 阿部 圭二 議員

- ①国民健康保険税の引き下げ
- ②補聴器購入の補助

#### P16 高橋 伸二 議員

- ①平泉町防災行政無線デジタル化更新工事

#### P17 三枚山光裕 議員

- ①新型コロナウイルス感染症「第7波」の検証と今後の対策
- ②物価高騰への対策
- ③保育士の増員

※掲載している内容は、質問者自身が要約し広報委員が校正したものです。※全文は、議会ホームページでご覧いただけます。



### 議会をもっと身近に

読みやすい文字

行間を広げ、読みやすいユニバーサルフォントを使用します

見やすい誌面

大きめの見出し文字、見やすいレイアウトにします

やさしい表現

難しい言葉はわかりやすく解説を付けます

皆さんの声を大事に

町民の皆さんにご登場いただく場面を増やしていきます

コロナ禍で見送られていた議会広報研修会が、2年ぶりに開催されました。

議会だより「ひらいずみ」に対する評価は、読者目線をより重視し、細かな見出しを付け、一目で内容を把握できるようなものにする、難しい用語をわかりやすい表現に改めることなど、多くの指摘を受けました。

今一度、原点である町民目線を意識し、努めていきたいと思ひます。

議会広報編集委員長

### 不登校児童・生徒への支援は

答 適応支援教室の設置を検討

**問** 不登校児童・生徒の状況は。

**教育長** 全国的に増加しており、当町では令和3年度調査で小学校9名、中学校17名となっている。

**問** 不登校児童・生徒、保護者へのケアは。

**教育長** スクールカウンセラーを平泉小学校に隔週1日、長島小学校に随時、平泉中学校に毎週1日配置し、相談体制に役割を果たしている。また、適応支援相談員を1名配置、3校の児童・生徒及び保護者の相談に応じ、学校生活復帰への支援に当たっている。

**問** 適応支援相談員を増やす考えは。

**教育長** 担当者を増やすより、指導方法などを工夫しながらカバーしていく。

**問** 学校以外の支援の場所として適応支援教室の設置は。

**教育長** 不登校の児童・生徒の学

来年度予算に子育て環境の充実と謳っている。平泉の未来を作る宝物、子どもたちのための財源確保を!

議員のひとりごと



議員 仁子 友大

# コロナ禍での避難所運営は

## 答 感染拡大防止を講じる



**問** 想定を超える自然災害が頻発している。コロナ禍での避難所に公共施設、ホテルや旅館等の活用は。

**町長** 人と人の密を避けるため、多くの避難所を開設し、ホームページやアプリケーション等を活用し、周知する。要配慮者に考慮し、ホテル、旅館等の受け入れ可能な施設の把握に努める。



防災グッズの確認を！

**町長** 基本的には、各家庭の備蓄品で対応してもらう。物資の配達が必要となる場合は、関係機関との連携を視野に対

**問** 分散避難での災害物資の届け先への対応は。

**町長** 定期的な換気や消毒の徹底といった基本的な感染対策をして、感染拡大防止を講じる。避難所におけるマスクや消毒液、パーテーション、段ボールベットの必要な物資を確保するなど、事前準備を進める。

**問** 感染症対策に配慮した避難所運営のあり方は。

**町長** 定期的な換気や消毒の徹底といった基本的な感染対策をして、感染拡大防止を講じる。避難所におけるマスクや消毒液、パーテーション、段ボールベットの必要な物資を確保するなど、事前準備を進める。

**問** 突然の心停止から救い得る命を救うためには、心肺蘇生AEDの知識と技能を普及する必要がある。学校におけるAEDの設置状況は。

**教育長** 町内すべての教育施設にAEDを各1台設置している。体育館の入口など、見やすく、直ぐに使用できる場所に設置している。

**問** AEDが設置されているにもかかわらず、それが適切に使われずに失われた命もある。中学校でも、今後一斉講習を考

**問** 教職員へのAED講習の実施状況は。

**教育長** 小学校では職員を招き心肺蘇生の講習を行っている。また、プール学習の前

**問** 学校における児童・生徒への

**問** AEDが設置されているにもかかわらず、それが適切に使われずに失われた命もある。中学校でも、今後一斉講習を考

**議員のひとりごと** 昨年の秋、初めて視察・研修に行くことができました。正しく、百聞は一見に如かずでした。常に防災意識をして参りたいと思います。

# 学校での心肺蘇生教育は

## 答 発達段階ごとに指導を行う

心肺蘇生教育の現状は。

**教育長** 小学校では大人に助けを

**問** AEDが設置されているにもかかわらず、それが適切に使われずに失われた命もある。中学校でも、今後一斉講習を考

**問** AEDが設置されているにもかかわらず、それが適切に使われずに失われた命もある。中学校でも、今後一斉講習を考



議員 正 葉 稲

# 水道使用料の引上げは

## 答 財政計画の収支による

**問** 給水収益の減収状況は。

**町長** 人口減少等に伴い、水需

要の減少傾向はさらに強まり、今後5年間で約3%減少すると見込んでいる。

**問** 費用の推移は。

**町長** 老朽化水道管や施設の更

**問** 他市の町村では水道使用料を15%程度引上げているところもあるが、平泉町は。

**町長** 水道施設の更新及び耐震化に係る事業費は膨大であり、大きな負担となっており、国の交付金事業等の活用も検討する。

**建設水道課長** 第5次行政改革プラ



水道代

**問** 災害に備える財源は。

**町長** 水道施設の更新及び耐震化に係る事業費は膨大であり、大きな負担となっており、国の交付金事業等の活用も検討する。

**問** 令和6年度から水道使用料が上がるのか。

**建設水道課長** 財政投資計画の収支バランスにより6年度からということもある。管路更新も重要な課題であり、浄水場の耐震補強工事をどの程度進めるかにより、大きく投資が変わる。

# 花立ため池を公園に

## 答 町方針を検討する



浸食が進む花立ため池

**町長** 関係者との協議の下、検討する。

**問** 農業用水利者と消防関係との確認は。

**建設水道課長** 一部の方面ではないが、広く意見を頂く。

**問** 時期や計画は。

**建設水道課長** 住民、行政、行

**問** 町所有の池が私有地を浸食していることは大きな問題ではないか。

**町長** パトロールを実施し、危険な場合は速やかに対応する。

**議員のひとりごと** 中尊寺通りからガイダンス施設に向かう、狭いカーブで事故が起きる前に、安全な連絡通路を早急につくるべき。

議員のひとりごと



議員 幸 光 みつ ぐみ 真 筆

## 冬期寄宿舍の検討は

答 地域の中で暮らせる支援をする



**問** 80歳以上の高齢者世帯への冬期間保護施設として、町内宿泊施設で見守る「高齢者冬期間寄宿舍施設」を検討できないか。

**町長** 自宅を留守にすることに抵抗を感じたり、共同生活への不安などの意見もあり、当町では行わない。

**問** 冬期間や災害だけでなく健康上の問題があった場合の早期対応など、高齢者世帯の見守りは重要である。高齢化社会への課題への取り組みとして必要ではないか。

**保健センター長** 宿泊施設の確保や人員などの課題がある。平泉のコンパクトさをいかし、地域のつながりがあればと考えられる。

**問** ふるさと応援寄附金の使途として、景観保全や環境保全事業などの権限を区長会に一任し、住民が一体となって取り組む事業への活用を検討できないか。

**総務課長** 地域の方が参加する地域づくりへの共同事業などに活用できるか検討したい。

**問** 平泉の文化遺産を身近に感じ体験する宿泊型（発掘体験・出土品仕分け作業など）や平泉学を親子で学ぶ学習型など、平泉らしい返礼のあり方はどうか。

## ふるさと納税活用に連携は

答 地域づくり事業へも検討する

**総務課長** 他自治体との差別化を図るという意味合いからも、平泉ならではの無形の返礼品としての必要性は認める。関係者のなかで意見を求め、検討したい。

**問** 旅行先にふるさと納税すると、返礼品として現地で使える電子商品券がもらえる「旅先納税」の導入を検討できないか。



地域が参加する景観・環境保全事業

**町長** 決済システムの導入や参加事業者の課題もあり、導入自治体の状況調査と町内事業者の意向を踏まえ研究する。

その他の質問  
・マイナンバーカードの不安の解消  
・子育て政策

人口減少が加速しています。昨年・本年と出生児は30人未満です。一方、80歳以上の高齢者数は過去最高です。若い世代の町への定住策と高齢者の見守り策の両立が求められています。

議員のひとりごと



議員 圭 二 けい じ 部 阿



**問** コロナ禍で事業者や農家が苦しんでいる。収入の少ない町民への支援に国保税を引き下げるべきではないか。

**町長** 収入の減少や物価高騰を心配している。前年の3割以上の収入減少で減免をしている。今後、歳出の増加が予想され、引き下げは慎重に検討していく。

**問** 基金が増えるのと保険税は安くなるのか。

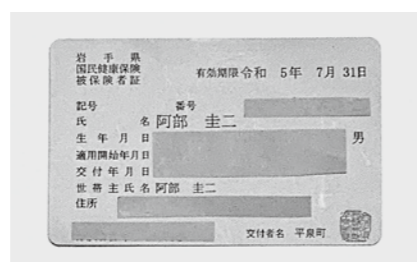
**町民福祉課長** 保険税が安くなることはない。町は県下でも安い方で、保険税で納付金を賄う状況ではない。今後保険税を上げないよう検討していく。

**問** 国保世帯の平均所得はどのくらいか。

**税務課長** 令和3年度の平均所得は81万1000円、令和4年度は7万2000円である。

**問** 2016年の国保加入者の2

答 慎重に検討する



国民健康保険証

割以下が農林水産業や自営である。8割が無職や被用者で、国保税を下げるべきではないか。

**町民福祉課長** 国保世帯は無職、年金生活者がほとんどである。しかし、医療費はかかる。市町村の保険料だけでなく、知事会や町村会で安定した制度にしていくべきである。

## 補聴器の補助金制度は

答 補聴器の必要性も含めて相談

方が対象である。国の動向を注視し、福祉・介護制度の充実と不安解消に努める。

**問** 認知症の前段階では復帰が可能だということだが、補聴器はこのときに必要となるのではないか。

**保健センター長** 難聴が発生の要因に含まれている。補聴器が必要かも含めて相談してほしい。



補聴器で難聴者が普通に暮らせる町を

誰もが補聴器を購入できる環境整備が必要ではないでしょうか。

議員のひとりごと

